第１号議案

特定非営利活動法人　鎌倉広町の森市民の会

2022年度 事業報告書

（第21期：2022.4.1～2023.3.31）

1　2022年度の取り組み概要

１）従来からの活動の着実な実行

第1期指定管理者から通算７年で得た経験と知識を活かし、鎌倉広町緑地の環境の保全と向上に努めた。市民が都市林の環境を楽しめる機会をより多く創出した。合わせて都市林の維持管理と生物多様性の重要性を理解してもらうことに努めた。

また、市民自ら管理運営に参加できる仕組み作りとして近隣自治会との協働作業の実施、子ども達の自然体験の場所づくりに関して出張冒険遊び場への協力などを行なった。

２）広町の在り方、活動・方向性の再確認と各種プロジェクトの推進

8月より、現場推進、緑地設計、外部連携、広報、組織強化(プロジェクト名称については一部仮設定)の５つのプロジェクトを立ち上げ、それぞれこれまでの取り組みの共有、今後の夢などの意見交換を踏まえ、今後の方針検討のための話し合いの場を持った。

①　次期指定管理選定に向け、単独応募を視野に入れた諸検討

当初年度内に素案作成を予定したが、課題の整理と共有や、今後の体制についての丁寧な意見交換を重視し、素案作成は、次年度に送ることとした。

次期指定管理応募体制の意思決定については、8月以来、「プロジェクト」活動として、会の今後の姿を模索すべく、関連する調査・検討も進め多様な情報を整理し、意見交換を重ねた結果、最終的に2023年1月7日臨時理事会において、次期の運営体制についての選択肢を整理し、理事間の意見交換を踏まえ、応募体制について記名投票の結果、「現共同事業体応募」5名、「単独応募」11名、「その他の応募体制」3名で、「単独応募」を鎌倉広町緑地次期指定管理の応募体制とすることを議決した。

②　市民の会会員の増強

活動を支える会員に関しては、初期の会員の高齢化による減少が続いている。一方で青空自主保育でんでんむしの保護者及びかまくら緑の探偵団の保護者の入会は毎年継続しており、ボランティアからの入会と合わせて新規入会増の要因となっている。またボランティアの募集を積極的に行い、持続可能な活動の出来る NPO 法人としての安定基盤作りに努めた。しかしながら、2022年度の会員数は期初の552名から期末には506名に減少しており、会員増に向けた抜本的な対策が必要である。

③　理事会・事務局の再構築

理事会の再構築については、8月より7名の新任理事が新たに参加し、理事19名、監事2名の運営体制とし、プロジェクトを推進した。

事務局の再構築については、事務局スタッフとして8月に2名、2月より4名が加わり、従来2名の中心スタッフで推進してきた業務を多様なスタッフでシェアしながら運営する体制への移行を進めて来た。経理の DX 化、多数の短時間業務のスタッフでの業務連携の為の業務 SNS(LINE WORKS)の導入など業務の効率化を推進し、NPO 法人としての安定した基盤作りに努めているところである。

2　事業内容

⑴　都市林づくりの活動を通じて、自然環境を保全する取り組みを行い、生物多様性の重要性を広く啓発する事業

①里山復元ボランティアに関する事業

・内容：田んぼの会、畑の会、森の会、散策路の会、自然観察の会の運営

・日時：実績

田んぼの会活動日数（52日）
畑の会活動日数（151日）
森の会活動日数（26日）
自然観察の会活動日数（214日）
散策路の会活動日数（55日）

・場所： 鎌倉広町緑地全域

・従事者人員：延べ2,421人

・受益対象者：市民、生態系

②広町緑地の保全・管理に必要な各種研修

1）ホットスポット研修会（神奈川県自然保護協会）ボランティア3名参加

2）茅ヶ崎里山公園 視察　ボランティア３名参加

3）新治里山公園 視察 理事２名訪問

③広町緑地内で保全が必要なエリアにおいて、現状の把握、問題点の整理、解決策の検討を行い環境保全計画を策定し、実施する事業

環境保全委員会を10月、11月、1月、3月に開催し、以下について検討した。

・緑地管理計画の検討
・緑地管理業務の進捗状況確認
・竹林跡地の整備方針の検討
・R5年度の取り組み計画の検討

また、事務局にて運営要綱について検討し、運営要綱(案)を作成した。

⑵　都市林づくりの活動を通じて、自然環境の重要性について、多くの人々、とくに次代を引き継ぐ青少年の環境教育を支援するための事業（子ども向け体験活動事業と共催とした）

①かまくら緑の探偵団の運営に関する事業

・内容：広町の森にて、次世代を継ぐ若い世代の学習の場を提供した。田植え、稲刈り、麦踏み、サトイモ・サツマイモの植え付けや収穫、植樹祭への参加、水辺の生き物観察会、広町ハイキング、作文発表会など、田んぼや畑などの里山活動と連携し、季節を通じた活動を行った。また、2022年度は神奈川県緑の少年団交流集会の担当団として広町での全県大会の運営を担った。

・日時：通年（活動日数延べ14日）

・場所： 鎌倉広町緑地内（試行で鎌倉市内、県内）

・従事者人員：延べ100人

・受益対象者：探偵団団員および市民

②幼稚園、保育園、小中学校の自然体験受け入れ事業

・内容：田んぼの田植え、稲刈、脱穀作業、芋掘りなど畑地作業、緑地内パトロール、樹林地保護作業への参加など、里山活動への小中高校の児童、生徒、学生の受け入れ、環境教育の支援を行った。

・日時：通年（活動日数延べ15日）

・場所： 鎌倉広町緑地内

・従事者人員：延べ80人

・受益対象者：参加する児童生徒および市民

③高校生ボランティア受け入れ

イベント時、夏休み等にボランティアの受け入れを行った。

延べ受入人数40名。

④大学等研究機関との連携

1）野鳥標識調査

山階鳥類研究所 調査員 高橋和也 さん実施の鳥類標識調査への支援を行った。

（調査期間は、R5年4月1日から R6年3月31日まで）

⑤湘南鎌倉医療大学との連携

・内容：医療大学の体験学習の受け入れを行った。田植え、収穫祭に参加頂いた。

・日時：通年（活動日数延べ５日）

・場所： 鎌倉広町緑地内

・従事者人員：延べ80人

・受益対象者：参加する学生および市民

⑥市民団体との活動の連携

・内容：市民団体や周辺自治会町内会等園内で活動をしている団体との連絡調整を行った。

・日時：通年

・場所： 鎌倉広町緑地内

・従事者人員：延べ30人

・受益対象者：市民

⑦広町塾の運用

この取り組みは、事情により開催しなかった。

⑶　鎌倉広町緑地を拠点として行う各種イベントの企画運営事業

①里山復元活動の成果を市民とわかちあうイベント事業

・内容：植樹祭、田植え祭、稲刈り祭、収穫祭など予定通り開催した。

・開催実績：

5月22日　植樹祭（参加者数 38人）
6月11日　田植え会（参加者数 309人）
10月9日　稲刈祭（参加者数 164人）
11月19日 収穫祭（参加者数 425人）

・場所： 鎌倉広町緑地

・従事者人員：130人（一般ボランティアを含む）

・受益対象者：市民

②収穫物を活用した体験・講座に関する事業

・内容：豆腐作り教室、藍染め教室、コンニャクづくり教室、そば打ち教室など、里山保全活動での収穫物を元に講座を開催した。

・開催実績：

5月22日(AM) 広町の野草クッキング（参加者数 10人）
5月22日(PM) 広町の野草茶を楽しむ（参加者数 10人）
5月28日　豆腐作り教室（参加者数 14人）
7月24日　そば打ち教室（参加者数 20人）
8月28日　藍染教室（参加者数 30人）
11月15日 コンニャク作り教室（参加者数 14人）
2月23日　そば打ち教室（参加者数 26人）

・場所： 鎌倉広町緑地管理事務所、腰越学習センター

・従事者人員：延べ32人

・受益対象者：市民

③鎌倉広町緑地ガイドに関する事業

1）緑地ガイド（里山さんぽ）

・内容：広町緑地の魅力を広く市民に知ってもらうため市民ボランティア・市民の会会員が中心となり実施するガイド。里山の四季と活動にあわせ、年間８回開催した。

・開催実績：

4月23日　春の植物観察会（参加者数 19人）
4月30日　大桐と藤の鑑賞会（参加者数 20人）
8月6日　夜の昆虫観察会（参加者数 32人）
8月21日　夏のチョウ観察会（参加者数 20人）
9月25日　秋の植物観察会（参加者数 7人）
12月10日 広町紅葉散歩（参加者数 13人）
1月22日　冬の野鳥観察会（参加者数 17人）
3月25日　大桜鑑賞会（雨天中止）

・場所： 鎌倉広町緑地内

・従事者人員：延べ26人
・受益対象者：市民

⑷　鎌倉広町緑地の指定管理に関する事業

①指定管理者受託をうけての事業
・内容：「令和４年度鎌倉広町緑地の事業計画書・収支予算書」記載の業務を、鎌倉市公園協会と協働し実施した。
・日時：通年
・場所： 鎌倉広町緑地ほか
・従事者人員：約20人
・受益対象者：市民

②管理運営協議会を実施して共同事業体との連携を図る事業
・内容：指定管理業務の円滑な推進の為の連絡調整の場として管理運営協議会を毎月開催した。四半期に一度鎌倉市みどり公園課の参加を得、連絡調整を行った。
・日時：毎月1回　年12回
・場所： 鎌倉広町緑地管理事務所、腰越行政センター
・従事者人員：延べ約60人
・受益対象者：市民

③安全管理の徹底に関する事業
・内容：安全管理委員会により刈払い機安全講習会を6月26日に開催した。（参加者数8人）消防訓練等は実施できなかった。
・場所： 鎌倉広町緑地ほか
・従事者人員：3人
・受益対象者：市民

⑸　鎌倉広町緑地を利用して行う保健、福祉活動の支援事業

①福祉団体の体験事業 、支援事業
・内容：近隣の老人介護施設や障害者施設などの高齢者や障害者を対象として、広町緑地の案内や催しの情報提供や来園に対する支援活動。西鎌倉社会福祉協議会、腰越地区社会福祉協議会、西鎌倉助け合いの会などの支援を行った。

②福祉施設への収穫物の寄付に関する事業
・内容：身体障害者施設、独居老人に対するサービス施設への収穫物の寄付を西鎌倉社会福祉協議会、腰越地区社会福祉協議会、西鎌倉助け合いの会等）
・日時：10月～1月
・場所： 鎌倉広町緑地内・各施設
・従事者人員：延べ20人
・受益対象者：市民

⑹　鎌倉広町緑地に関する情報提供事業

①市民の会 会報「広町からの風」の発行に関する事業

新スタッフによるリニューアルを行い、５８号から新デザインでの発行とした。

58号 2022年9月15日　　新理事の紹介他

59号 2022年10月25日　　市民の会改革への取り組みとこれから

60号 2022年12月15日　　2022年収穫祭の様子

61号 2023年3月15日　　市民の会20周年特集

②広町緑地公式ニュース「ひろまちだより」の発行に関する事業

・内容：主に紙媒体による、広町緑地の魅力を広く紹介する広報活動を行った。

・日時：年4回

・従事者人員：延べ20人

・受益対象者：市民

③市民の会ホームページ、ブログ等の運営に関する事業

・内容：市民の会のホームページの全面見直しを行い、ボランティア活動を中心に発信力を向上させた。

・日時：通年

・従事者人員：10人

・受益対象者：市民

④鎌倉広町緑地公式ホームページ、フェイスブック、ツイッター等の運営に関する事業

・内容：公式ホームページ トップページのリニューアルを行った。また、緑地動植物の季節の変化をとらえた魅力紹介に努めた。合わせて、緑地を支えるボランティア活動の紹介や、ボランティア活動への参加呼びかけにも配慮した。一方、指定管理者としての業務の紹介、危険個所情報の発信も行った。発信数は、一昨年比２倍程度となった。

・日時：通年

・従事者人員：10人

・受益対象者：市民

⑤花図鑑出版に関する事業

・内容：2012年度に制作した広町花図鑑の販売を行った。

・実績：28冊販売

・従事者人員：2人

・受益対象者：市民

⑥広報活動に関する事業

1)イベントやガイドに関するポスターやちらしの作成事業

・内容：各イベントやガイドに関するポスターやちらしの作成と配架、配布を適宜行った。

・日時：通年

・従事者人員：10人
・受益対象者：市民

2)市内各所でのイベントに参加、出展する事業
・内容：「鎌倉市民活動フェスティバル」への参加とパネル展示などの広報活動を行った。
・日時：年1回、通算2日
・従事者人員：4人
・受益対象者：市民

3)広町花だよりの発行に関する事業
・内容：自然観察の会植物班の観察記録をもとに、1月を除く各月にA4判の花だよりを発行し、配架、ホームページに掲載した。改善の予定であった、リーフレット化「花ごよみ」の制作に着手した。
・日時：年11回
・従事者人員：30人
・受益対象者：市民

(7)　助成金受託に関する事業

かまくら緑の探偵団助成金(かながわトラストみどり財団)を受け、子ども関連事業として実施した。その他の助成金応募は行わなかった。

(8)　その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

①事務局運営の改善

事務局の再構築については、事務局スタッフとして8月に2名、2023年2月より4名が加わり、従来2名の中心スタッフで推進してきた業務を多様なスタッフでシェアしながら運営する体制への移行を進めた。経理のDX化、多数の短時間業務のスタッフでの業務連携の為の業務SNS(LINE WORKS)の導入など業務の効率化を推進し、NPO法人としての安定した基盤作りに努めた。

②総会、理事会、5つの会連絡会の運営
・2022年5月29日に総会を開催し、年度報告を確認し、年度計画を決定した。
・理事会の再構築に取り組んだ。8月より7名の新任理事が参加し、理事19名、監事2名の運営体制とし、これまでのふりかえり、次期指定管理応募への体制について検討した。最終的に、2023年1月7日理事会にて、次期指定管理の単独応募を議決した。
・５つの会連絡会は、例年通り偶数月に計6回開催し、ボランティア活動の連絡調整を行った。

以上

補足資料

＊会員動向

	会員総数	正会員		普通会員	
		個人	団体	個人	団体
期初	552	122	4	423	3
期末	506	124	4	376	2
増減	▲ 46	2	0	▲ 47	▲ 1
退会	86	14	0	71	1
入会	40	16	0	24	0

注）一部集計途上の部分あり変更可能性あり